

ストップ! 農作業事故

毎年、農作業中の事故により、約400人が亡くなっています!!

～農林水産省HP（農作業安全研修資料等）より抜粋～

自脱コンバインの事故に関する安全対策のポイント

①後進時は、より慎重に運転しましょう!

コンバインの事故で最も多いのが**転落・転倒事故**です。特に、後進時に事故が多く発生する傾向があります!



左の写真のようにコンバインの後方は死角が多く、特に後進時に注意が必要です。

チェック項目

①コンバインの大きさや死角を把握している	<input checked="" type="checkbox"/>
②補助者と安全に関する話し合いをしている	<input checked="" type="checkbox"/>

- 畦畝や路面の凹凸等による転倒・転落事故に十分注意しましょう。
- 補助作業者は、コンバインの死角での作業に十分注意しましょう。

②納屋等からの出入り時は十分注意しましょう!

コンバインの挟まれ事故は、**納屋等からの出入り時**に梁と挟まれることによっても多く発生しています!



左の図のように納屋等の狭い場所でコンバインを動かす際は声かけ・合図を励行しましょう。

チェック項目

①機械を動かす際は必ず補助者がいる	<input checked="" type="checkbox"/>
②周囲の安全を確認している	<input checked="" type="checkbox"/>

③巻込まれによる負傷事故に注意しましょう!

コンバイン巻込まれ事故は、**点検整備・清掃中**に多く発生しています! そのうち、**エンジン非停止**が事故要因となるケースが多い状況です。



点検整備・清掃作業ではエンジンを停止しましょう。手こぎ作業時は、適切な服装で機体の内側に手を入れないようにしましょう。

チェック項目

①点検整備時はエンジンを停止している	<input checked="" type="checkbox"/>
②服装は体に合ったものを着用している	<input checked="" type="checkbox"/>

出来秋を笑顔で向かえるため、収穫作業時の事故防止に努めましょう!

高温・降雨少なく、登熟極端に進み、収穫早まる!!

～収穫の準備は万全に～

現在の生育状況

8月17日現在（仙北地域振興局農林部農業振興普及課）

管内の出穂盛期は8月4日で、平年並（平年8月4日）の出穂となっています。（定点調査圃の平均出穂期は8月5日（平年8/4、前年8/6））

8月17日現在の「あきたこまち」の生育は、穂数は451本/m²（平年比104%）、1穂粒数は67.4粒（同91%）、m²当たり粒数は30,346粒（同95%）、葉数は12.4葉（平年差-0.4葉）となっています。

平年に比べ、m²当たり茎数は多いものの1穂粒数が少ないことから、m²当たり粒数はやや少ない傾向にあります。

出穂期別積算気温到達予想日

今後、気温が高めに推移した場合は右記積算気温到達日より早く刈り取り期をむかえますので注意が必要です。

刈取適期は以下の判定法を組み合わせ総合的に判断しましょう。

出穂日	本年：大曲		2012年		平年：大曲		平年	
	950℃	1,000℃	1,050℃	1,100℃	1,150℃	1,200℃	1,250℃	
8月1日	9月9日	9月12日	9月14日	9月17日	9月19日	9月21日	9月24日	
平年	9月11日	9月14日	9月16日	9月19日	9月21日	9月24日	9月26日	
8月4日	9月13日	9月16日	9月18日	9月21日	9月23日	9月26日	9月28日	
平年	9月15日	9月17日	9月20日	9月23日	9月25日	9月28日	9月30日	
8月7日	9月17日	9月20日	9月23日	9月25日	9月28日	9月30日	10月3日	
平年	9月19日	9月21日	9月24日	9月27日	9月30日	10月3日	10月5日	
8月10日	9月21日	9月24日	9月27日	9月30日	10月3日	10月5日	10月8日	
平年	9月23日	9月26日	9月29日	10月2日	10月5日	10月8日	10月10日	

注) 8月27日以降は平年値を使用

刈り取り適期

適期に刈らないと青米や胴割米の増加につながりますので、適期刈り取りに努めましょう

○早生種(あきたこまち)…出穂後45日頃 出穂後積算気温950℃～1,050℃

※1,100℃を超えると胴割粒が増加する

○中晩生種(ゆめおぼこ・めんこいな)…出穂後50日頃 出穂後積算気温1,050℃～1,150℃

※1,200℃を超えると胴割粒が増加する

刈り取り判断の目安

枝梗の熟色 枝梗の黄化程度が、穂の主軸について上から5番目の枝梗まで黄化した頃
 籾の熟色 通常年では、葉や穂首が緑色であっても、籾の黄化程度が90%（黄白+黄色）の頃が適期となります。しかし、登熟期間が高温な場合は、籾の黄化程度が85%を超えると胴割れ率が10%を超えるとされていますので、籾の黄化程度80%から刈取適期と見なします。

収穫に向けて シーズン前に作業機械の点検を必ず行いましょう。

○刈り取り前に以下の点についてチェックしましょう。

- ・エンジンオイル・冷却水はトラブルを防ぐためシーズン前に必ず交換しましょう。
- ・各部（脱穀部・選粒アミ・エアクリーナー等）の清掃を積極的に行いましょう。

チ エ ッ ク 項 目	①ベルト・チェーン	チェック
	ひび割れ、すり減ったベルトは交換し、緩んでいる箇所の調整	✓
	チェーンのガタ、ローラーの摩耗が大きいと切れる可能性があるので交換	✓
	かき上げ爪は左右に揺すって、ガタがある場合は交換	✓
②刈刃	チェック	チェック
	ガタ、刃こぼれがないか点検（刈り株がトラ刈りになる場合は交換）	✓
	刈刃と受刃との間隔（0.3mm）調整と摩耗が激しい場合は交換	✓
③走行部	チェック	チェック
	主クラッチ・走行クラッチの切れ・遊び調整	✓
クローラの伸び・損傷	✓	
④電装品・油圧等の点検	チェック	チェック
	バッテリーの状態	✓
	油圧装置の作動状況	✓

○刈り取り時の注意事項

- ・収穫時の籾水分は25%以下が望ましく、収穫時刻は稲体が乾燥している午前10時～午後5時頃を目安にします。
- ・刈り取り品種が変わる場合にはコンタミ（異品種混合）を避けるため、籾搬送オーガ等の清掃をしてください。
- ・シーズン中は各部の点検やチェーン等への注油を怠らないようにしましょう。
- ・作業中のトラブルに際しては、必ずエンジンを止めてから点検作業に入るようにしましょう。
- ・雨天の直後や早朝の収穫は穀粒損失やコンバインの詰まりの原因となるので避けましょう。

コンタミ（異品種混入）対策 異品種混入はJAS法違反です!!

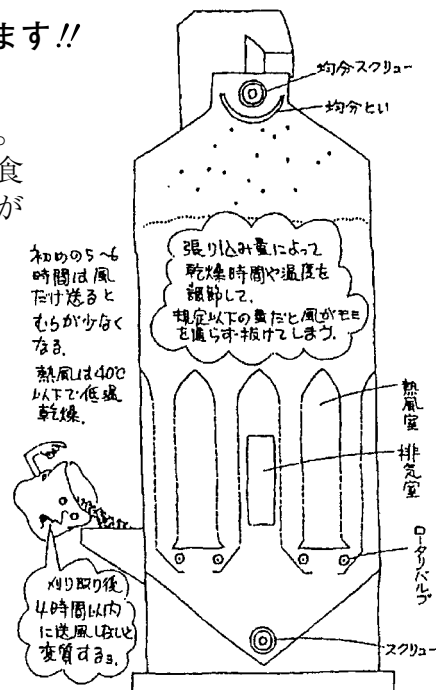
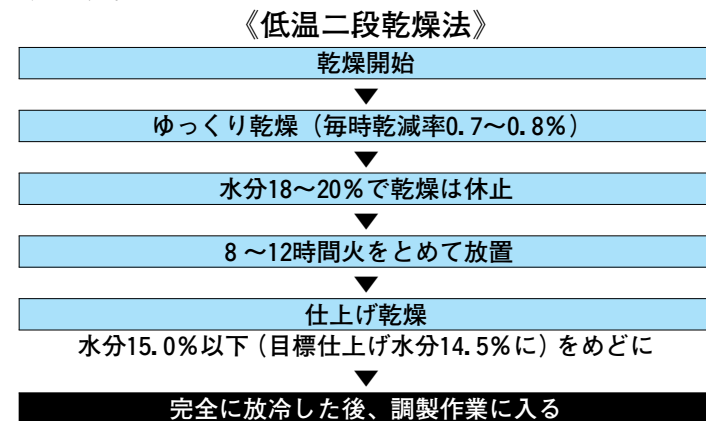
店頭で販売される玄米（精米）は生鮮食品に分類され、名称、原料玄米（産地・品種・産年・使用割合）、内容量、精米年月日、販売者の表示が必要とされています。したがって、製品に異品種が混入した場合はJAS法違反に問われますので、複数品種を作付している場合は生産者側でのコンタミ対策も必要となります。

特に刈取・乾燥・選別作業時、品種が変わる際は作業機械の清掃を徹底し、異品種の混入がないか細心の注意をはらいます。

乾燥作業 高水分籾の高温乾燥は食味低下を招きます!!

1. 美味しさの決め手は「低温二段乾燥」です!!

一般に高温で火力乾燥すると食味が低下しやすくなります。これは、お米にふくまれる脂肪の分解が始まって、貯蔵中の食味低下を招くためですが、高水分籾ほど低温で乾燥する必要があります。



2. 乾燥機のクセを把握しましょう

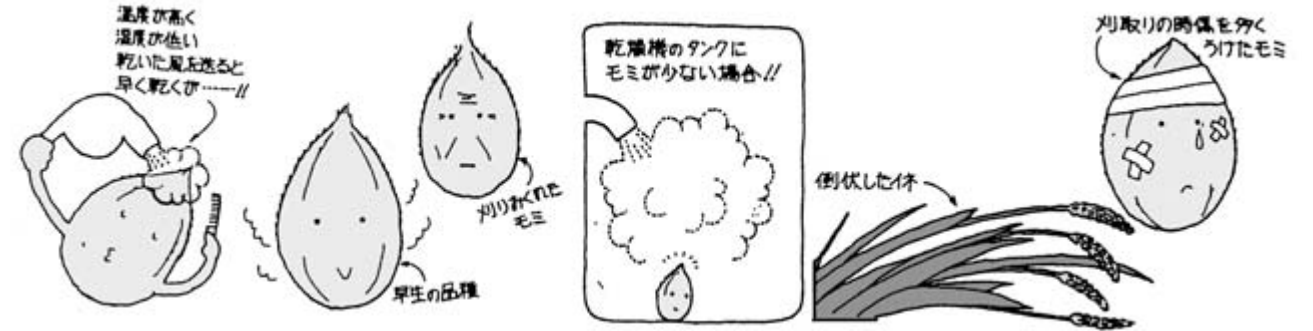
加熱乾燥が終了してから、放冷中に乾燥がすすんだり、戻ったりします。これは保管中の建物・乾燥機の実態等の影響もありますが、最も与える影響の大きいものは乾燥籾に含まれる青米の混入率です。

《青米の混入と乾燥の進み方》

玄米100粒中の青米混入数	乾燥終了後の水分変化	乾燥停止設定玄米水分	乾燥終了水分値
11粒以上の時	乾燥が戻る(水分率が上がる)	14.5%	15.0%
6～10粒の時	水分変化が少ない	15.0～14.8%	15.0%
0～5粒の時	乾燥が進む(水分率が下がる)	15.5～15.3%	15.0%

3. 胴割米を出さない6つのポイント

- ① 乾燥は指定温度より少し下げた温度で行う。
- ② 一般に早生品種は胴割れしやすいので、適期刈り取りを実施する。
- ③ 刈り遅れた籾は胴割れが発生しやすいので、適期に刈り取りを実施する。
- ④ 乾燥機タンクに籾が少ない場合に発生しやすく、計画的作業を実施する。
- ⑤ 玄米水分18%以下からの乾燥温度には特に注意し、慎重に水分測定する。
- ⑥ 倒伏して泥に汚れた籾は、刈り取りから調製まで別扱いで早めの処理をする。



籾摺作業 肌ずれや籾混入に注意!!

- 籾摺機を水平に据え付けし、主軸の回転数を確認の上でロール間隔を1回通して脱ぶ率80～85%になるよう試し摺して調整します。
- 籾摺りロールの摩耗や片減りに注意し、必要に応じて交換します。
- 肌ズレは籾温や籾の含水率が高いほど発生しやすくなります。
- 登熟不良で未熟粒が多い場合、無理にロール間隔をせばめないこと。ロール間隔は標準にして脱ぶ部に詰まりを生じない程度に籾の供給量を調節します。

米選作業 整粒歩合80%以上の高品質米仕上げを!!

- 米選作業は籾摺作業と連結しての作業のため軽視されがちですが、被害粒・死米・未熟粒などの不良粒をより多く除去して整粒歩合を高める最終作業ですので、能率重視は禁物です。
- 高品質米に仕上げるために1.90mmのフルイ目を推奨していますが、玄米流量を多くしての作業は効果半減ですので、丁寧な作業を行いましょう。
- 集荷規格……仕上げ水分14.5%、量目（紙袋）は皆掛重量30.5kg
- 高品質米の仕分けについて
 1. 高品質米の区分
整粒歩合80%以上の「1等A米」と、整粒歩合80%以上かつ玄米のタンパク値6.2以下の「1等S米」の2種類に仕分けします。
 2. 対象品種
あきたこまち、ゆめおぼこ、めんこいな、ひとめぼれ、ササニシキ、はえぬき、淡雪こまち、たかねみのりの8品種